

6 学年保護者の皆様

仙台市立吉成小学校

校長 菊地 博

全国学力・学習状況調査の結果分析と学力向上に向けた今後の取組について（お知らせ）

さわやかな初秋の季節となりました。保護者の皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。日ごろから本校の教育につきましてご理解とご協力をいただき、お礼を申し上げます。

さて、4 月に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果（8 月上旬学校着）と今後の学力向上に向けた取組についてお知らせします。個人票は、本日封筒に入れてお子さんに配付しました。個人票を受け取りましたら「受取書」を担任にご提出ください。あくまでも、この調査により測定できるのは学力の特定の一部であることをご理解の上で、結果を受け止めていただくようお願いいたします。

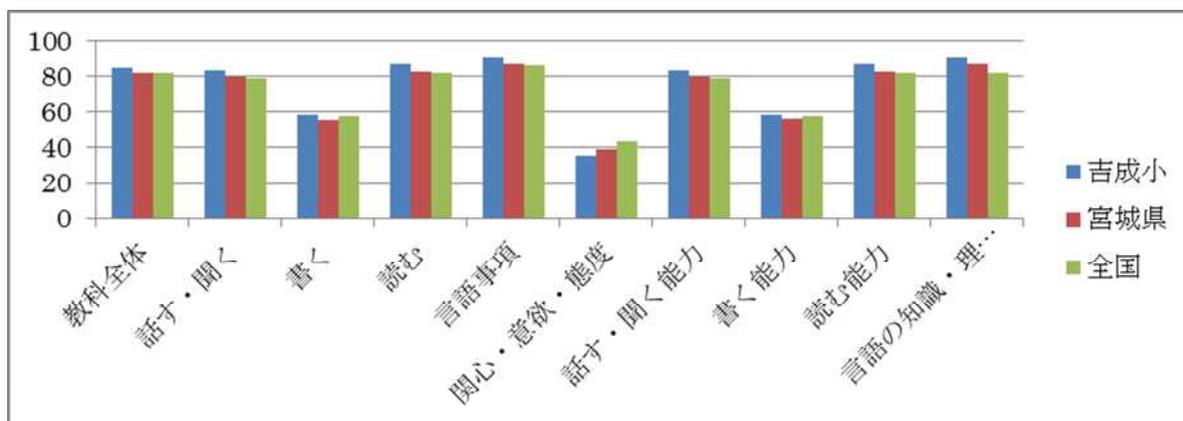
今後も、両調査の結果を踏まえ、次に示す学力向上に向けた具体的な学習指導の工夫や改善に努めてまいりたいと思います。

1 全国学力・学習状況調査結果の概要

(1) 国語 A：主として「知識」に関する問題の平均正答率

☆ 身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など

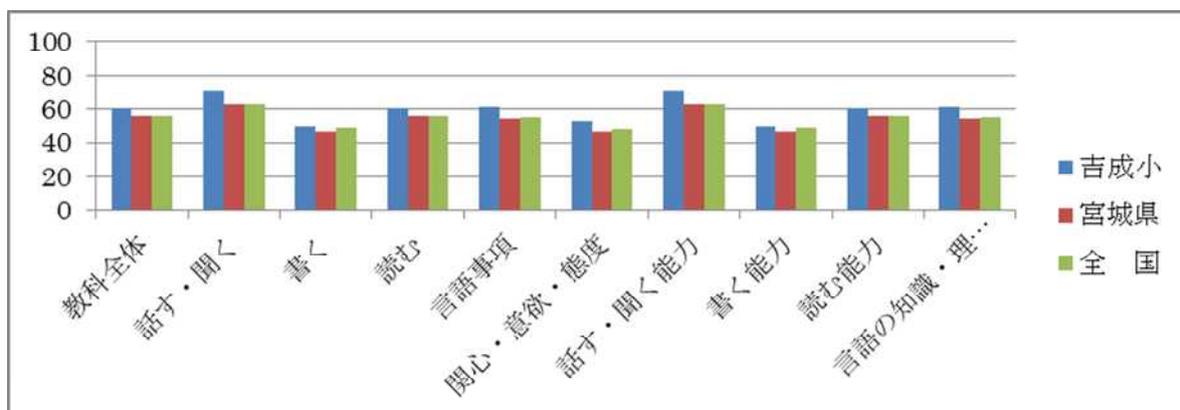
		領域別正答率					観点別正答率				
		教科全体	話す・聞く	書く	読む	言語事項	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語の知識・理解・技能
平均正答率	吉成小	85.1	83.1	58.4	87.0	90.5	34.9	83.1	58.4	87.0	90.5
	宮城県	81.7	79.8	55.0	82.5	86.8	38.8	79.8	55.0	82.5	86.8
	全国	81.6	79.4	57.5	82.1	86.3	43.2	79.4	57.5	82.1	86.3



(2) 国語B：主として「活用」に関する問題の平均正答率

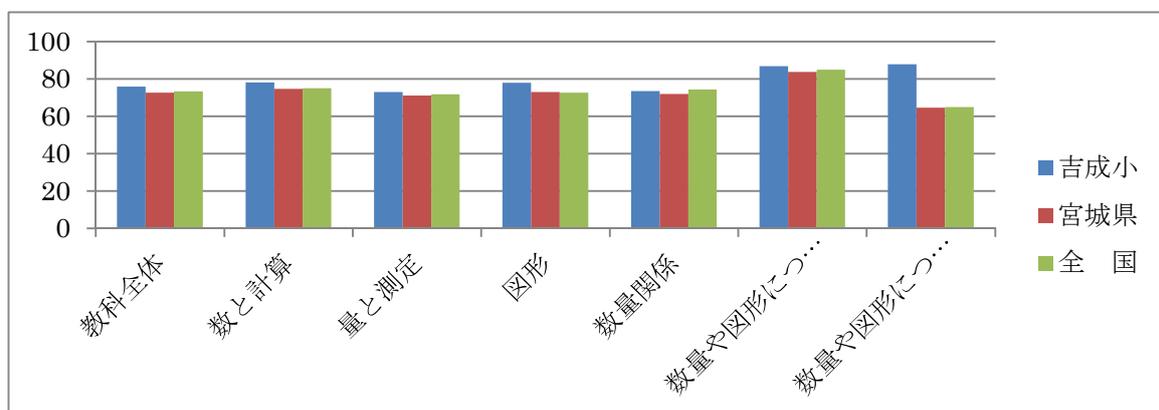
☆ 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などにかかわる内容

		領域別正答率					観点別正答率				
		教科全体	話す・聞く	書く	読む	言語事項	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語の知識・理解・技能
平均正答率	吉成小	60.7	71.1	50.1	60.2	61.4	53.0	71.1	50.1	60.2	61.4
	宮城県	55.9	62.6	47.0	55.8	54.7	46.8	62.6	47.0	55.6	54.7
	全国	55.6	63.0	46.8	55.7	55.2	48.5	63.0	46.8	55.7	55.2



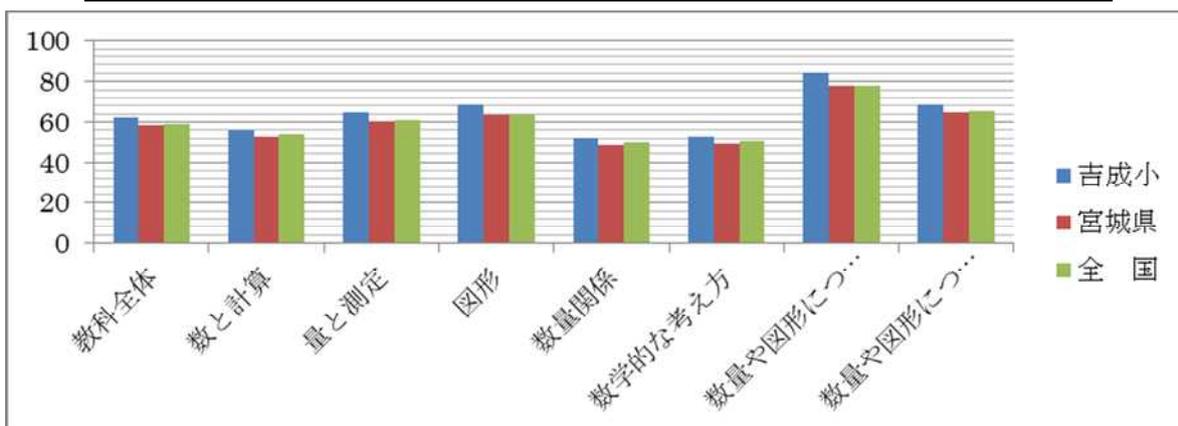
(3) 算数A：主として「知識」に関する問題の平均正答率

		領域別正答率				観点別正答率	
		教科全体	数と計算	量と測定	図形	数量関係	数量や図形についての知識・理解
平均正答率	吉成小	75.8	78.1	72.9	77.9	73.5	86.8
	宮城県	72.7	74.6	71.0	73.0	71.9	83.8
	全国	73.3	75.0	71.7	72.6	74.4	84.9



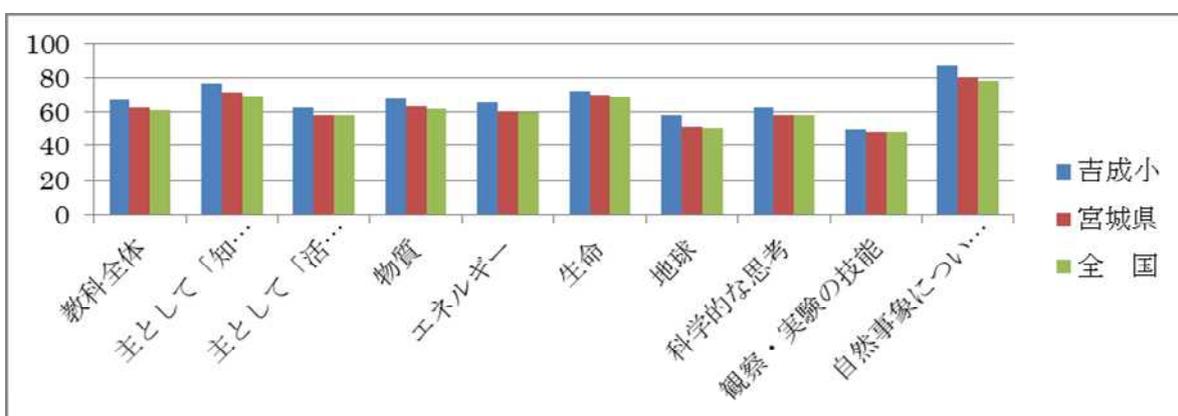
(4) 算数B：主として「活用」に関する問題の平均正答率

		領域別正答率					観点別正答率		
		教科全体	数と計算	量と測定	図形	数量関係	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解
平均正答率	吉成小	62.4	55.8	64.7	68.3	51.8	52.6	84.3	68.7
	宮城県	58.1	52.5	60.2	63.2	48.1	49.1	77.8	64.8
	全国	58.9	54.0	60.8	63.3	49.6	50.4	77.6	65.2



(5) 理科の平均正答率

		問題			領域別正答率				観点別正答率		
		教科全体	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	物質	エネルギー	生命	地球	科学的な思考	観察・実験の技能	自然事象についての知識・理解
平均正答率	吉成小	66.7	76.4	62.7	67.8	65.5	72.3	58.3	62.7	49.4	87.2
	宮城県	62.1	71.5	58.3	63.2	60.4	69.8	51.4	58.3	48.4	80.7
	全国	60.9	69.1	57.6	61.4	59.8	68.6	50.6	57.6	48.2	78.2



2 全国学力・学習状況調査における全体的傾向

<国語>

- 「知識」問題、「活用」問題共に教科全体、全領域で、全国の平均正答率を上回る良好な結果となっています。ただし、国語A:「知識」の観点別では、「関心・意欲・態度」が、全国平均43.2%に対して、34.9%と8.3ポイント低くなっています。

また、国語A:「知識」の観点別では、「書く」領域が0.9ポイント全国平均正答率より上回っていますが、他の領域に比べ相対的に低く、B「活用」にも同様の傾向が認められます。

<算数>

- 算数A:「知識」の「数量関係」の領域を除き、A「知識」、B「活用」問題共に、教科全体、各領域・観点で、県、全国の平均正答率を上回っています。算数A:「知識」の「数量関係」の領域は、全国平均を0.9ポイント下回っています。

<理科>

- 全領域、全観点で平均正答率を上回り、良好である。特に、「自然事象についての知識・理解」では全国平均を9ポイント上回っていました。
「観察・実験の技能」は、1.2ポイント上回っていますが、他の観点と比べると相対的にやや低くなっています。

<児童質問紙の結果概要>別紙参照

- 全国学力・学習状況調査の児童質問紙結果の概要は、7月にお知らせいたしました仙台市生活・学習状況調査の結果とほぼ同様の結果となりました。(※ 市の調査は、全国調査と同じ設問を含んでいます。)

質問に対する選択肢の中で「どちらかといえば当てはまる」まで入れると、県・全国よりも良い結果、又は同程度の割合になるものが多くありましたが、「当てはまる」と答えた割合だけを見るといくつか下回っているものが見られました。

特に、児童の生活に関わる設問では、「(5)自分には良いところがある」と答えた児童は全国(公立)の割合より8.4ポイント、「(32)学校の決まりを守っている」と答えた児童が11.5ポイント、「(34)近所の人にあいさつする」と答えた児童は12.4ポイント、「(35)人の気持ちがわかる人間になりたい」と答えた児童が8.6ポイント、「(36)いじめは、どんな理由があってもやってはいけないことだ」と思っている児童の割合が全国の割合よりも11.1ポイント、「(37)人の役に立つ人間になりたい」と答えた児童が6.5ポイント、それぞれ下回っていました。

4 今後の取組について

今回の全国学力・学習状況調査の結果から、本校児童（第6学年）の学力の定着状況は概ね良好であると言えますが、今後一層力を付けていくための課題も見えてきました。

<国語>

「目的や意図に応じ、必要となる事柄を整理して簡潔に書くこと」などに課題があります。実際の調査問題では、物語の下書き、学校新聞、子ども向けの雑誌などが題材となっています。

このことを踏まえ、国語で学んだことを、他教科での新聞やレポートづくり、総合的な学習の時間での「マガジン作成」などに生かすことで、興味・関心・意欲を高めながら、より実践的な力を付けていくことができるように指導していきます。

<算数>

「百分率の意味理解や大小の判断、その理由の記述」に課題があります。百分率の意味や割合の考え方のよさを理解するのは、なかなか難しいことです。少人数指導などを生かしながら、数量関係を的確に捉えることができるように丁寧な指導を行っていくことを大切にしていきます。また、算数のみでなく、国語の説明的な文章や、社会科の資料、理科での実験・観察結果の整理、総合的な学習の時間での調査活動など、他の教科や領域との関連も強化しながら指導していきます。

<理科>

「観察・実験」の技能を一層高めるため、理科支援員の効果的な活用もすすめながら、高学年の教科担任制の充実を図っていきます。

<生活面>

○ あいさつは、ここ数年継続して重点目標に掲げていますが、「近所の人」へのあいさつについては、もう少し意識を高める必要があります。各学年による年間を通したあいさつ運動の充実や、学習や生活全般をとおした、「あいさつ」の指導をとおして、より一層の習慣化を図ります。

○ 「いじめ、どんな理由があってもいけないことだと思う」と回答した児童が、65.1%にとどまっています。7.2%と小数ではありますが、「どちらかと言えば当てはまらない」「当てはまらない」と回答した児童がいたのも、残念なことです。「いじめは絶対に許されないことである」という指導を徹底していくとともに、安心して過ごせる学級づくり、安心して相談できる環境づくりにも努めていきます。

また、人間関係や心の持ち方など、人間としての生き方そのものに関することについては、家庭での働きかけも重要です。ぜひ、ご家庭でも話題にしていきたいと思えます。

学校では、市の生活学習状況調査の結果でもお知らせしたとおり、「たくましく生きる力育成プログラム」等の活用、道徳教育、自分づくり教育の充実を図りながらいじめの未然防止に努めていきます。

○ 最高学年での規範意識の低下は、学校全体にも大きく影響します。学級での話し合い活動、道徳教育や生活指導等を充実させながら、規範意識を高めていくことができるように努めていきます。